



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場会社名 神東塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高沢 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 企画・経理室部長 (氏名) 青山 忠嗣 (TEL) 06-6429-6264
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,647	5.5	198	24.5	250	27.1	138	44.5
2019年3月期第1四半期	5,353	0.1	159	1.2	197	△13.8	95	△15.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 183百万円(-%) 2019年3月期第1四半期 △27百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	4.47	—
2019年3月期第1四半期	3.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	36,094	17,113	45.3	528.07
2019年3月期	36,370	17,109	44.9	527.65

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 16,358百万円 2019年3月期 16,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,300	1.9	270	△14.1	370	2.3	230	—	7.42
通期	22,700	2.6	600	5.0	790	15.9	500	—	16.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	31,000,000株	2019年3月期	31,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	22,861株	2019年3月期	22,861株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	30,977,139株	2019年3月期1Q	30,977,142株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の設備投資、鉱工業生産は堅調に推移しましたが、中国経済減速等による外需の落ち込みの影響により、先行き不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発等による積極的な販売活動を展開するとともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,647百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。損益面では、営業利益は198百万円（前年同四半期比24.5%増）、経常利益は250百万円（前年同四半期比27.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円（前年同四半期比44.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料分野は、輸出は昨年に引き続き低調であったものの、国内主要ユーザーの生産ライン獲得による出荷増により、売上高は増加いたしました。

工業用電着塗料分野は、配電盤、農機、住宅建材向け出荷が堅調に推移した他、新規ラインの獲得や売価改善の実現もあり、売上高は増加いたしました。

粉体塗料分野は、主力の鋼製家具、家電、電気機器メーカー向け出荷が引き続き堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

工業用塗料分野は、主力の建設機械、工作機械、形鋼、ゴルフボール向け出荷がいずれも堅調に推移した他、新製品の投入も順調に推移したため、売上高は増加いたしました。

建築塗料分野は、集合住宅向けのリフォーム用外装材や工場向け床材の出荷が好調に推移した他、工事売上の前倒しがあったことから、売上高は増加いたしました。

防食塗料分野は、昨年好調であった新設橋梁物件の出荷が低調に転じた他、民間プラント向けの大型案件受注が減少したため、売上高は減少いたしました。

道路施設用塗料分野は、天候不順やG20開催等による交通規制の影響を受けたものの、すべり止め材、カラー舗装材、段差修正材等の高付加価値品の出荷が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

軌道材料製品分野は、整備新幹線向け出荷が開始されたものの、レール面整正用可変パッドの出荷が低調に推移し、売上高は減少いたしました。

自動車用塗料分野は、輸出は回復に転じたものの、国内向け出荷が主要ユーザーの減産の影響により低調に推移し、売上高は減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は5,255百万円（前年同四半期比5.8%増）、経常利益は244百万円（前年同四半期比27.7%増）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は392百万円（前年同四半期比1.8%増）、経常利益は6百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が371百万円減少し、受取手形及び売掛金が95百万円増加したこと等により、36,094百万円（前連結会計年度末比276百万円減）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ賞与引当金が149百万円、短期借入金が83百万円減少したこと等により、18,981百万円（前連結会計年度末比280百万円減）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産（非支配株主持分を含む）は、前連結会計年度末に比べ為替換算調整勘定が39百万円増加し、利益剰余金が16百万円減少したこと等により、17,113百万円（前連結会計年度末比

4百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,510	3,139
受取手形及び売掛金	7,796	7,891
商品及び製品	1,898	1,886
原材料及び貯蔵品	618	669
その他	221	226
貸倒引当金	△11	△13
流動資産合計	14,034	13,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,159	2,143
機械装置及び運搬具（純額）	1,054	1,069
土地	15,800	15,802
その他（純額）	316	341
有形固定資産合計	19,330	19,358
無形固定資産	318	309
投資その他の資産		
投資有価証券	1,907	1,844
その他	781	782
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,687	2,625
固定資産合計	22,336	22,293
資産合計	36,370	36,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,963	7,055
短期借入金	2,937	2,854
未払法人税等	124	80
賞与引当金	272	122
役員賞与引当金	14	2
その他	933	868
流動負債合計	11,244	10,984
固定負債		
長期借入金	1,777	1,744
再評価に係る繰延税金負債	3,910	3,910
役員退職慰労引当金	6	7
退職給付に係る負債	1,684	1,700
その他	638	634
固定負債合計	8,016	7,996
負債合計	19,261	18,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	5,444	5,428
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,281	8,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187	177
土地再評価差額金	7,929	7,929
為替換算調整勘定	△60	△20
退職給付に係る調整累計額	7	7
その他の包括利益累計額合計	8,064	8,093
非支配株主持分	764	755
純資産合計	17,109	17,113
負債純資産合計	36,370	36,094

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,353	5,647
売上原価	4,253	4,520
売上総利益	1,100	1,127
販売費及び一般管理費		
発送費	147	149
広告宣伝費及び販売促進費	21	20
従業員給料及び手当	241	250
賞与引当金繰入額	52	49
退職給付費用	16	16
減価償却費	30	19
試験研究費	56	61
その他	373	361
販売費及び一般管理費合計	940	928
営業利益	159	198
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	13
受取賃貸料	7	7
持分法による投資利益	19	30
その他	1	2
営業外収益合計	45	55
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	0	1
支払補償費	5	—
その他	0	0
営業外費用合計	8	3
経常利益	197	250
税金等調整前四半期純利益	197	250
法人税等	85	90
四半期純利益	112	160
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	95	138
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	22

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△19
為替換算調整勘定	△111	28
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	12
その他の包括利益合計	△139	22
四半期包括利益	△27	183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42	167
非支配株主に係る四半期包括利益	14	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	4,968	385	5,353	5,353
セグメント利益	191	5	197	197

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	197
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	197

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	5,255	392	5,647	5,647
セグメント利益	244	6	250	250

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	250
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	250

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。